

静 止 形 複 合 保 護 継 電 器 検 査 成 績 書

P. _____

納入先 _____

検査期日 年 _____ 月 _____ 日

工事番号 _____

形 式	NV-1T21-D	[比率差動要素]	[感度抑制要素]
動作原理	静 止 形	定格電流 : 8.7A cont. I ₁ I ₂ 共 整定範囲 : 電流タップ 2.9~8.7A 比率 35, 50%	定格電圧 : 110V cont. 感度抑制時間 : 10s, 20s, □ッ
準 拠 規 格	JEC-2500 JEC-174F		
制 御 電 圧	DC 110 V	製 造 番 号	定 格 周 波 数
			Hz

試験項目・試験結果

温度 _____ °C 湿度 _____ %

試 験 項 目	試 験 記 録	結 果
構 造 検 査	外観・構造・表示事項及び塗装	
絶 縁 抵 抗 試 験	回路一括 ~ 外箱間 : 10MΩ以上 (規格値)	
耐 電 圧 試 験	回路一括 ~ 外箱間 : 2.0kV 60Hz 1分間 (但し、E ₀ 端子 ~ ケース間のアース線を外す)	
特 性 試 験	(注) 下記項目の試験を実施する。	

[比率差動要素]

1. 動作値

比率 整定	入力端子\整定	2.9 A	3.2 A	3.5 A	3.8 A	4.2 A	4.6 A	5.0 A	8.7 A
		判 定 基 準	0.87±5%	0.96±10%	1.05±10%	1.14±10%	1.26±10%	1.38±10%	1.50±10%
35%	1 次	A	A	A	A	A	A	A	A
	2 次	A	A	A	A	A	A	A	A
50%	1 次	A	—	—	—	—	—	—	A
	2 次	A	—	—	—	—	—	—	A
感度 低下	判 定 基 準	2.9±10%	—	—	—	—	—	—	8.7±10%
	1 次	A	—	—	—	—	—	—	A
	2 次	A	—	—	—	—	—	—	A

[判定基準]

最小タップ : 整定タップの30%に対し±5%以内

その他のタップ : 整定タップの30%に対し±10%以内

感度低下時 : 整定タップに対し±10%以内

2. 動作時間

最小整定にて、比率35%, 50% : 0A→最小整定値の60%入力

感度低下時 : 0A→最小整定値の200%入力

比率整定\入力端子		1 次	2 次	判 定 基 準
35%	2.9A整定	s	s	1.03±10%
50%	2.9A整定	s	s	
感度低下	2.9A整定	s	s	

承認	作成

[感度抑制要素]

3. 動作値

動作値	判定基準
V	50V±10%

4. 動作時間

[試験条件] 各整定にて0V→110Vに急変

整定	測定値	判定基準
10s	s	各整定値の±10%
20s	s	

5. 比率特性

(1) 最小整定値でI₂入力200%、500%にてI₁の動作電流値を測定する。(但し、I₁>I₂)

整定	I ₂ 入力\整定	35%	50%	感度低下	判定基準
2.9A	14.5A	()% ^A	()% ^A	—	$\left(\frac{I_1 - I_2}{I_2} \times 100\right)$ の 整定値の500%:±10% その他:下記表値 の±20% 感度低下200%:250%±10%
	5.8A	()% ^A	—	()% ^A	

(2) 最小整定値でI₁入力500%にてI₂の動作電流値を測定する。(但し、I₁<I₂)

整定	I ₁ 入力\整定	35%	50%	感度低下	判定基準
2.9A	14.5A	()% ^A	—	—	$\left(\frac{I_2 - I_1}{I_1} \times 100\right)$ の整定値の500%:±10%

6. 不動作試験

I₁、I₂をそれぞれ整定の500%にし、同時に入切して誤動作しないこと。(外部事故を想定)

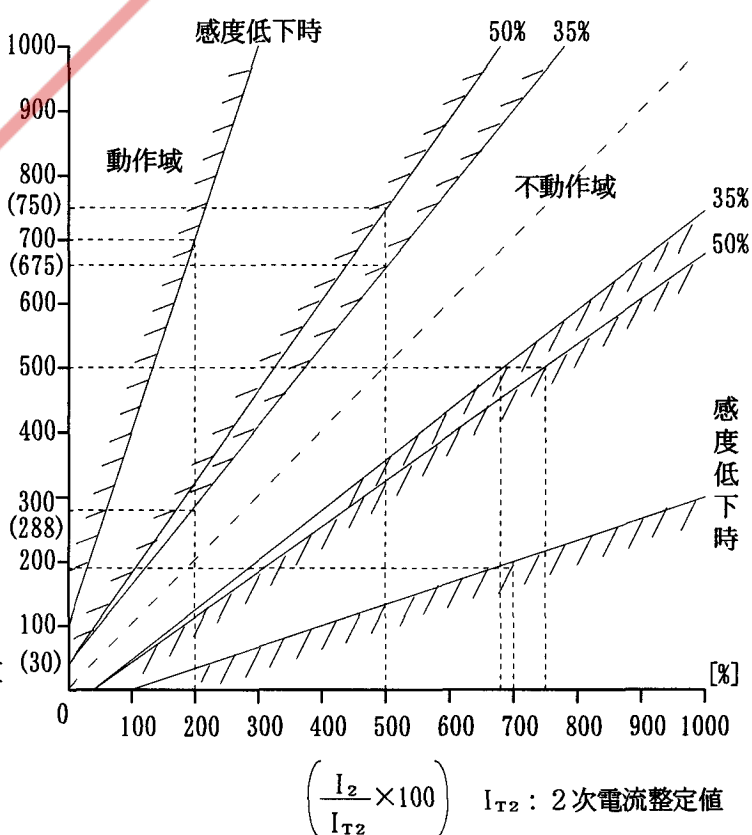
7. 制御電源開閉試験

制御電源電圧の開閉、緩慢な電源変動で誤動作なきこと。

8. 動作表示

LED、マグサインが表示すること。

《比率特性曲線》



$$\left(\frac{I_1}{I_{T1}} \times 100\right)$$

$$I_{T1} : 1次電流整定値$$

$$\left(\frac{I_2}{I_{T2}} \times 100\right)$$

$$I_{T2} : 2次電流整定値$$

[感度抑制要素]

製造番号

3. 動作値

動作値	判定基準
V	50V±10%

4. 動作時間

[試験条件] 各整定にて0V→110Vに急変

整定	測定値	判定基準
10s	s	各整定値の±10%
20s	s	

5. 比率特性

(1) 最小整定値でI₂入力200%、500%にてI₁の動作電流値を測定する。(但し、I₂>I₁)

整定	I ₂ 入力\整定	35%	50%	感度低下	判定基準
2.9A	14.5A	() ^A %	() ^A %	—	$\left(\frac{I_1 - I_2}{I_2} \times 100\right)$ の 整定値の500%:±10% その他:下記表値 の±20% 感度低下200%:250%±10%
	5.8A	() ^A %	—	() ^A %	

(2) 最小整定でI₁入力500%にてI₂の動作電流値を測定する。(但し、I₁<I₂)

整定	I ₂ 入力\整定	35%	50%	感度低下	判定基準
2.9A	14.5A	() ^A %	—	—	$\left(\frac{I_2 - I_1}{I_1} \times 100\right)$ の整定値の500%:±10%

6. 不動作試験

I₁、I₂をそれぞれ整定の500%にし、同時に入切して誤動作しないこと。(外部事故を想定)

7. 制御電源開閉試験

制御電源電圧の開閉、緩慢な電源変動で誤動作なきこと。

8. 動作表示

LED、マグサインが表示すること。

《比率特性曲線》

